

連続企画「文学部ラボ：学問と社会の現在とこれからの考える」開講のお知らせ

人文社会系研究科・文学部所属の院生・学生の皆さん

本研究科・日本文化研究専攻の加藤（野島）陽子教授を始めとする人文系・社会科学系の研究者6名が、日本学術会議より第25期会員候補者として推薦されていたところ、内閣総理大臣により任命されなかったという事態については、皆さんもよくご存知だと思います。

私たち、人文社会系研究科・文学部の教員は、この事態を大きな憂慮をもって受け止め、教員の総意のもとに、大西克也研究科長がメッセージを10月6日に出しました。

この間、教員の間で、この事態について様々な議論がありましたが、その議論の過程において、この問題に関する教員としての直接の対応とは別に、この問題が提起する様々な問題、すなわち、学問の自由、学問と社会のあり方、さらには言論の自由等の問題について、教員・院生・学生が人文学の立場からともに考え、学問的に議論する場を設けたいという声があがり、教員・院生・学生向けの連続企画「文学部ラボ：学問と社会の現在とこれからの考える」（以下、「文学部ラボ」）を人文社会系研究科・文学部として開講することが決まりました。

については、「文学部ラボ」への積極的な参加を院生・学生の皆さんに呼びかけるものです。

「文学部ラボ」は、履修登録・単位認定を行う正規の授業という位置づけではありませんが、人文社会系研究科・文学部として、人文学を中心とした学問の価値を語り継ぐことを目的としています。皆さんの積極的な参加を希望します。

実施要領：毎週土曜日（18：00～19：30）に、Zoomを用いてオンラインで実施する。毎回、発表者二人、それぞれ30分程度の話題提供・講義、その後、30分程度の討議。

参加者：本研究科・本学部教員・院生・学生。

参加申し込み：Googleフォームでの事前申し込み制。以下のURLからアクセスして登録して下さい。登録するメールアドレスは、必ず東京大学のメールアドレス（u-tokyo.ac.jpを含む）にして下さい。追ってそのアドレスにZoomのミーティングURLを送付します。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-gV5PaSB3uHvIDwAEvwV8eHYLKE-kv41LxGqfKD16g1qqug/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-gV5PaSB3uHvIDwAEvwV8eHYLKE-kv41LxGqfKD16g1qqug/viewform?usp=sf_link)

当面の予定：

10月24日（土）：

前半：出口剛司教授（社会学研究室）：問題提起

後半：納富信留教授（哲学研究室）、藤原聖子教授（宗教学研究室）、出口剛司教授による座談会

10月31日（土）：

前半：藤原聖子教授：学術会議をめぐっての話題提供・講義

後半：阿部賢一准教授（現代文芸論研究室）：ヴァーツラフ・ハヴェルをめぐっての話題提供・講義

11月7日（土）：

前半：鈴木泉教授（哲学研究室）：スピノザ『神学政治論』をめぐっての話題提供・講義

後半：大宮勘一郎教授（独文研究室）：レオ・シュトラウスをめぐっての話題提供・講義  
（以降、企画立案・交渉中）

問い合わせ先

鈴木 泉 (izumisz@mac.com)

教員を代表して

楯岡求美・出口剛司・鈴木 泉